

## 健康食品管理士への相談事例調査結果

1. 健康食品管理士への相談事例	154 例
事例内訳	
1) 薬と健康食品の飲み合わせ	18 例
2) 健康食品同士の飲み合わせ	1 例
3) 健康食品の効能効果について	10 例
4) 健康食品と食事について	4 例
5) 健康食品と検査値について	11 例
6) 健康食品による症状	1 例
7) 健康食品への相談	109 例

### 2. 事例結果の内容

注：文中括弧下線で示したところは協会側の推測。

#### A) 協会に問い合わせがあり対応した事例

##### ○事例 1

患者：小児から老人まで 10 数名が、TBS の番組の「ピーかんパディー！」で紹介された白いんげんダイエットを実行した。

症状：激しい腹痛、嘔吐、下痢と食中毒を疑う

対応した具体的な内容：

医師と相談し、保健所及び事実を伝えるため当院より TBS へ現状を報告。

また、他施設等の現状の確認。保健所の指示を仰いだ。また、正確な情報を得る為に認定協会に問い合わせた。

##### ○事例 2

患者：時期不明。92 歳の女性で特に腎機能が悪いわけでもない方、投薬されている薬自身にもそのような薬効は無く、しいて言えば毎日どくだみ茶を飲んでいる。(健康増進を期待して飲んでいたと推測)

症状：血中K (カリウム) が、6.3mEq/l になる。(正常：3.5～5.0mEq/l)

対応した具体的な内容：

：協会へ問い合わせがあり、中止を呼びかけた。

#### B) 主に、健康食品の摂取による臨床症状ならびに検査値における事例を下記に列挙する。

##### ○事例 1

患者：2006 年頃、65 歳の女性で 2004 年にウイルス性肝炎になった方で 2 年程度ウコンをのみつづけた。

(以前、肝炎になったので肝障害抑制作用の期待できる健康食品を飲んだと推測)

症状：血中K (カリウム) が、高値を示した

対応した具体的な内容：

：対応しなかったが、ウコンの服用をやめたら K 値は低下したと報告があった。

○事例 2

患者：時期不明、43 歳の女性。糖尿病の既往歴あり、痺れがひどかったのでコンドロイチン、ビタミン E 含有の商品、ドリンク、エバラニコチネート？を服用した

症状：血糖が上昇

対応した具体的な内容：

：医師に相談

○事例 3

患者：81 歳の女性。糖尿病でインスリン治療中、娘さんから送付されたロイヤルゼリーと健康食品（ABC 酵素？）を副作用が無く身体に良いからといわれ飲み合わせて摂取。体調の悪いときは大量に摂取していた。

（滋養強壯を期待して服用したと推測）

症状：2～3 年血糖のコントロールで悪く、HbA1c が 8～13%と変動（正常値 4.3～5.8%）、食事指導を強化したが改善されない。

対応した具体的な内容：

：医師に報告し服用を中止させた。

○事例 4

患者：時期不明。48 歳の男性、2 年前に糖尿病の既往歴あり、ハイゲンキが体質改善に良いと聞き購入し 4 ヶ月ほど服用した

症状：湿疹

対応した具体的な内容：

：自ら服用をやめたら徐々に湿疹が消えた。

○事例 5

患者：時期不明。59 歳の男性、20 年前にネフローゼの既往歴あり、 $\gamma$ GTP のみ少し高めであったので健康増進のためマリアアザミを服用

（ $\gamma$ GTPが高めなので、肝機能改善の期待できる健康食品を服用したと推測）

症状： $\gamma$ GTP が 400 IU/L 台へ急上昇（正常値 10～50IU/1（男性））

対応した具体的な内容：

：服用を中止するようにアドバイスをしたら、元に戻った。

○事例 6

患者：平成 13 年 1 月ごろ、50 歳の女性、高血圧症の方で降圧剤を服用し、さらに外国製のニュースキンを服用

（健康増進を期待して服用したと推測）

症状：肝臓障害（AST 591 IU/1（正常値 7～38IU/1）、ALT 1899（正常値 4～44IU/1）、 $\gamma$ GTP626（正常値 9～2IU/1））

対応した具体的な内容：

：医師に相談後、病院を紹介した。

○事例 7

患者：時期不明。男性で高血圧症の方が、イチョウ葉エキス、Q10、コウズを服用した

症状：皮膚のかゆみ

対応した具体的な内容：

：対応しなかった。

○事例 8

患者：平成 18 年前後、73 歳の男性で糖尿病、リウマチの既往歴あり、グアバ茶を服用

(抗糖尿病の作用を期待して服用したと推測)

症状：軟便になった。

対応した具体的な内容：

：対応しなかった。

○事例 9

患者：時期不明。70 歳の男性、尿漏れを気にし始めて方で、通販のノコギリヤシを服用(前立腺肥大の改善作用を期待して服用したと推測)

症状・：ふらつきがあり、起き上がれずにいた。

対応した具体的な内容：

：とりあえず服用を中止した。

○事例 10

患者：20 代の女性、既往歴なし、ゴーヤ茶を飲み始めた。

(健康増進を期待して飲んでいたらと推測)

症状：肝機能値が上昇（基準値内である）、 $\gamma$ GTP が高めになった。

対応した具体的な内容：

：対応しなかった。

○事例 3

患者：現在、20 年間疲れやい 60 代の女性、時々クラクラするという事でクロレラを服用した。

(滋養強壮効果を期待して服用したと推測)

症状：立ちくらみやふらつき、時々気分が悪くなった。これといった病名がわからないで 1 年近く入院している

対応した具体的な内容：

：健康食品は必ずしも体にいいだけとは限らないと伝えたが、信用して服用していたが、入院後はクロレラの服用をやめた。

以上